



わたしが選ぶ 渥美半島

キラリ100選

たいしょういけ さとやま 大正池と里山 [高松町]

大正時代、ため池として造られた大正池。特徴はきれいな水で、池の底まで確認できるほど透き通っています。このきれいな水によって作られた鏡のような水面は、“周辺の里山”を映し出し、神秘的な美しさを魅せてくれます。昔ながらの景観を保ち続ける数少ない場所といえるでしょう。



にしうら まつばやし 西浦の松林 [浦町]

これだけ多くのクロマツが残っている場所は、市内でも多くありません。どこまでも続く松は、かつて“白砂青松の地”と呼ばれていたことを思い出させます。



ここの松の幹は、戦時中の人々が油を採取した跡を、現在も生々しく残しています。さまざまな場面でこの地を支えてきた松たち。今後は私たちが見守っていく番ですね。

人口と世帯数(平成18年8月1日現在)

総人口	66,452人
男性	33,542人
女性	32,910人
世帯数	20,408世帯
出生	47人
死亡	48人
転入	192人
転出	123人
増減	+68人
増減は7月中です	

行政面積

188.58km²

「子どもたちの夏休み」、そして「子どものころの夏休み」が影響しているせい、夏という季節の思い出は、ちよっと特別な気がします。8月21日(月)に開催した、三河港こどもクルーズ(親子クルーズ)に、取材のため同行しました。遊覧船に乗り、海上から迫力満点の工業地帯を望んだ皆さん。そして、スナメリたちに出会えた皆さん。工業や海の生態について学んだと同時に、日常ではありえない体験の数々に、夏の特別な思い出を予感したことと思います。最後に記念撮影。特別な思い出を少しでも力タチにできたらと思っ、シャッターを切りました。この瞬間は私にとっての夏の思い出かな? 皆さんもこの夏、新たに出来た特別な思い出があるかと思えます。いつまでも大切にしたいですね。(KA)

今月の「表紙」

「子どもたちの夏休み」、そして「子どものころの夏休み」が影響している